

お客様・取引先様とともに



社会的要請

- 製品品質・経営品質の重要性の高まり
- 社会インフラにおける安全安心ニーズの広がり

FDKのアプローチ

- エコシステムを活用し、様々なパートナーとともに提供価値を高め、お客様により電気エネルギーの様々な活用を可能にする。

お客様・取引先様とのかかわりのハイライト

2020年度製品に関する外部公表件数	ISO9001 認証生産拠点数	IATF16949 認証生産拠点数	ISO14001 認証生産拠点数
8 件	7 拠点	4 拠点	7 拠点

お客様・取引先様とのかかわりを支える取り組み

FDKグループは、「Smart Energy Partnerとして、先進技術を結集し、お客様に電気エネルギーを安心して効率的に活用いただき、持続可能な社会の実現と発展に貢献します」というビジョンのもと、提供する製品やサービスを通じて社会課題の解決に貢献してまいります。

人々の暮らしと社会を支える企業と個々のユーザーに、クリーンかつ安全な電気エネルギーを安定的に活用できるオフリングをお届けする。

基本的な考え方

FDKグループは、高品質で安全であり、地球環境にやさしくお客様にご満足いただける電池・電子製品を継続して開発供給するという考えのもと、社会課題の解決に貢献する製品開発、供給、品質保証体制の構築、グリーン調達に努めています。

取り組み事例

FDKグループの取り組み

環境法や環境上の規範を遵守し、地球にやさしい素材を活かした電池・電子製品を提供することで、未来を育む企業としての企業価値向上に努めています。その施策として、これまで電池事業・電子事業で蓄積してきた差別化技術を活用し、そこから生み出される新たな付加価値をお客様にご提供できるように、次世代電池を始めとする新製品開発に取り組んでいます。

2020年度新製品発表事例等のご紹介(抜粋)

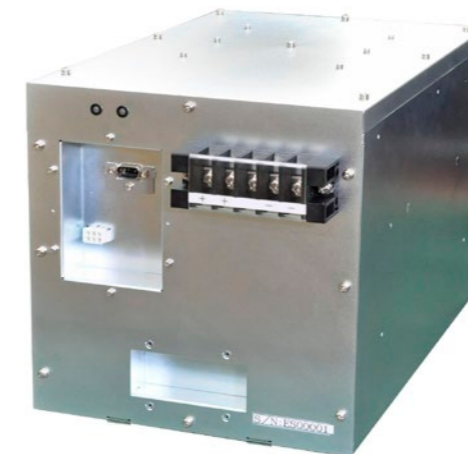
事例1

交通インフラ・産業用途向けDC24V ニッケル水素バッテリーシステム [BBUS-122024-02] を発売

お客様のご要望

- 既存屋外装置の整流器をそのまま使用し置き換えコストを低減したい。
- 既存電池搭載スペースで電池容量を増やし夜間保守の作業時間を延長したい。
- 冬季の低温環境下での電池放電容量劣化を改善したい。
- 電池劣化の兆候をリモート監視し、電池の寿命に至る前に計画的な電池交換を実施したい。
- 新製品の特長
- 鉛蓄電池の充放電挙動を取り入れた制御により置き換えを容易化。
- 小型で並列接続仕様(鉛蓄電池の同等品に比べ体積で34%減、質量で48%減を実現*当社調べ)
- 低温放電特性の良いニッケル水素電池の搭載

- 監視・通信機能を搭載



DC24V ニッケル水素バッテリーシステム [BBUS-122024-02]

事例2

FUJITSU アルカリ乾電池 [Long Life PLUS] 発売
特徴

正極缶にレアメタルコート技術を採用することで、酸化による内部抵抗の上昇と電池内部からの不純物の溶出をそれぞれ抑制し、その結果長期保存後の放電性能と耐漏液性能が向上し、従来品に比べ約2倍、10年間の長期保存を実現しました。中・小電流機器に適した放電性能と10年間の長期保存性能を併せ持ち、かつ高いコストパフォーマンスを備えた新しいスタンダードアルカリ乾電池として、日常生活のあらゆるシーンでお使いいただける電池です。また、本製品はグリーン購入法に適合しており、多本パック、プリストアパックの台紙には、環境に配慮した「森林認証紙」を使用しています。



FUJITSU アルカリ乾電池 [Long Life PLUS]

事例3

高出力円筒形二酸化マンガンリチウム一次電池の生産能力増強について(生産能力を25%増強)
当社は、メータ通信市場で需要が増加している高出力円筒形二酸化マンガンリチウム一次電池の組立ラインを増設し、生産能力を25%増強いたします。

当社の高出力円筒形二酸化マンガンリチウム一次電池は、主にガス、電力および水道などの電子メータに搭載されています。昨今の通信量増大を伴うスマート化によって、駆動時に大電流放電可能なリチウム電池の需要が高まっております。また同電池は、火災警報器、医療機器、車載機器などにも使用されており、コロナ禍でも依然として、需要の腰折れはなく、今後も受注拡大が見込まれます。こうした市場環境のなか、当社はリチウム電池の生産工場である鳥取工場の組立ラインを増設し、2021年4月より生産能力を25%増強いたします。また、今回の組立ラインの増設と並行して、従来の組立ラインの利点を踏襲し、改良すべき点を徹底的に見直しました。電池性能、品質および生産性を最大限に引き出すための設備設計はもとより、トレーサビリティシステムの構築などIoTを導入したスマート工場実現を見据えたライン構成とし、受注拡大に対応してまいります。



左:高出力円筒形二酸化マンガンリチウム一次電池
右:当社鳥取工場

研究開発のコンテンツを新たに当社ホームページに追加

当社は、1950年の創立以来、マンガン乾電池に始まり、アルカリ乾電池、リチウム電池など70年以上に渡って電池の研究開発を続けてまいりました。2010年からはニッケル水素電池も加わり、当社の電池に関する研究開発の領域は広がり、知見や経験はますます深まっております。

さらに直近では、これまでの研究開発の成果として、全固体電池や水素/空気二次電池など、新しい電池を開発しております。この度、当社が保有している技術および実施している研究開発の一例を当社ホームページでご紹介することにより、お客様をはじめステークホルダーの皆様にご提供できることを広く知っていただきたいと考えております。

【追加する研究開発コンテンツのURL】

<https://www.fdk.co.jp/research-and-development/>

● 2020年度の実績

- ニッケル水素電池
家電市場、車載、電源バックアップ、モビリティ用途、社会インフラ向けなどの製品開発・供給に努めました。
- アルカリ電池
高性能・高信頼性の製品開発に努めました。また、環境対応製品の供給を行いました。
- リチウム電池
住警器、車載、AED市場向け製品開発に努めました。業界最高水準の高容量を実現した高出力円筒形酸化マンガンリチウム一次電池を開発しました。
- 電子製品
お客様へ小型・軽量化の提案を行い開発に努めました。またセンシング、ワイヤレス製品の開発に努めました。
- 全固体電池
当社湖西工場においてSMD対応小型全固体電池SoLiCell TMの生産を開始しました。(2020年12月)
- 研究開発
大規模蓄電用次世代電池の一つである水素/空気二次電池を開発しました。(2020年11月)

品質および安全に配慮した製品の開発と品質保証

(FDKグループ品質方針)

「お客様の信頼に応える品質の提供」

〈理念〉

品質第一を基本的な考え方として、高品質で安全な環境にやさしい、お客様にご満足いただける製品を開発・供給して、社会に向け貢献することを使命とします。また、企業責任を問われる重大な品質事故や世界各国の法規制違反など絶対に起こしてはならないと認識しています。

そのため、営業から研究・企画・開発・設計・生産さらに顧客サービスなどの総てのステップにおいて、全部門がお客様起点で行動して、より確かな品質経営を実行します。

〈品質行動指針〉

1. お客様の品質要求事項は、最優先事項として迅速かつ適切に行動し顧客満足度を向上する。
2. 開発段階での源流活動を強化し、品質・価格・納期・環境を造りこみ、量産段階における、品質トラブルの未然防止、採算性の向上、納期の遵守、環境保全の向上につなげる。
3. 製品安全、製品含有化学物質など各種コンプライアンスに関わるリスク管理を継続強化する。
4. モノづくりの改善活動により、工程仕損、クレームによる損失などの品質ロスを徹底して削減する。
5. 品質マネジメントシステムを継続的に改善して、より効果的な品質経営を行う。

品質保証体制

FDKグループは、品質方針・品質行動指針を実現するために品質マネジメントシステムを構築し、品質保証活動に継続して取り組んでいます。2021年3月時点では、海外拠点を含めた8拠点でISO9001認証を取得しており、うち4拠点でIATF16949認証を取得しております。



品質保証の取り組み

お客様が要求する機能・性能・その他の内容を満足する製品・サービスの品質を提供するためには、経営層を始めとする様々な部門が連携し企業活動の全てのプロセスにわたっての全員参加活動が必要であると考えています。

FDKグループは、多岐にわたる製品群、海外を含めた各事業拠点の品質保証活動における連携活動にも取り組んでいます。品質保証統括部では、その活動を活性化するため全事業部との情報共有、品質方針の策定、コンプライアンスに関わる問題や品質トラブル発生時のエスカレーション、人材育成のための教育、不具合事例やノウハウなどについての水平展開にも積極的に取り組んでいます。また、経営トップ主催による「全社品質管理委員会」を設置しており、経営面からのアプローチも行っています。

品質保証強化への取り組みの改善プロセス

1. FDKグループの品質方針実現のために、製品企画から量産

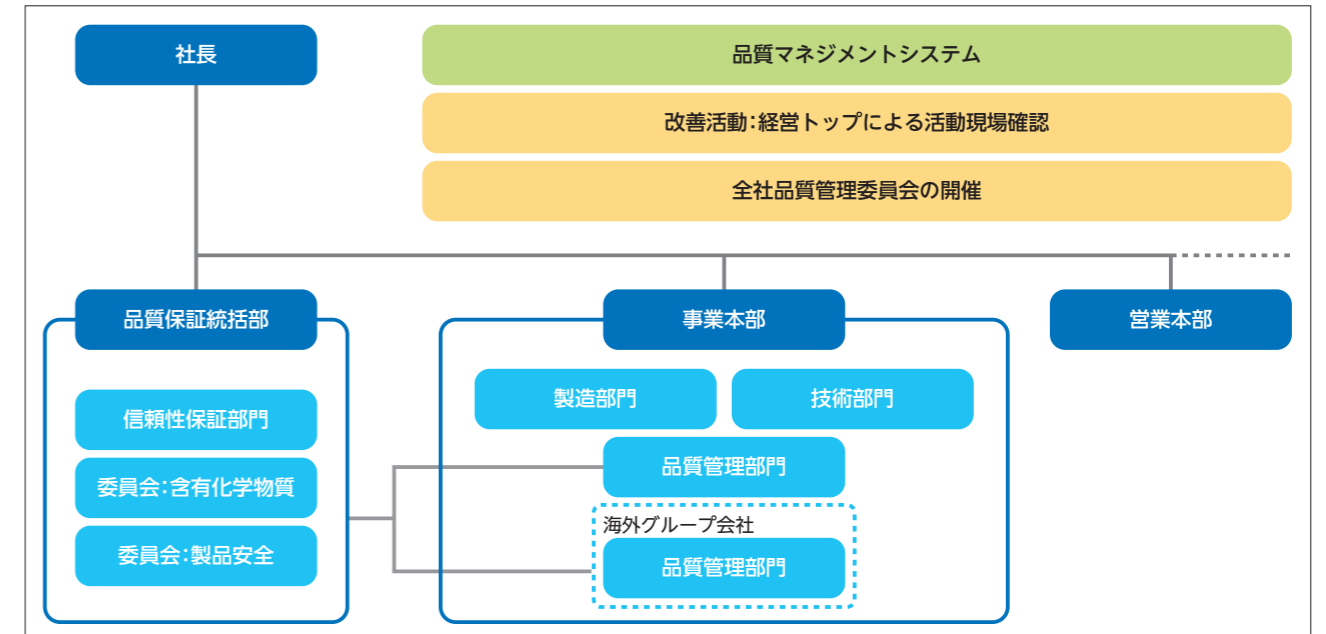
移管に至る各検証プロセスにおいて、品質関連規定等にもとづき、自部門だけでなく関係部門も交えた広い知見でレビューし、より客観的な検証を行っています。

慮した製品の供給により、持続可能な社会の実現に貢献しています。各物資の調達には、「FDKグループ グリーン調達基準」にもとづいた環境に配慮した物資の調達を行い、環境に配慮した物資を使用することにより、お客様へ環境配慮製品を提供しています。

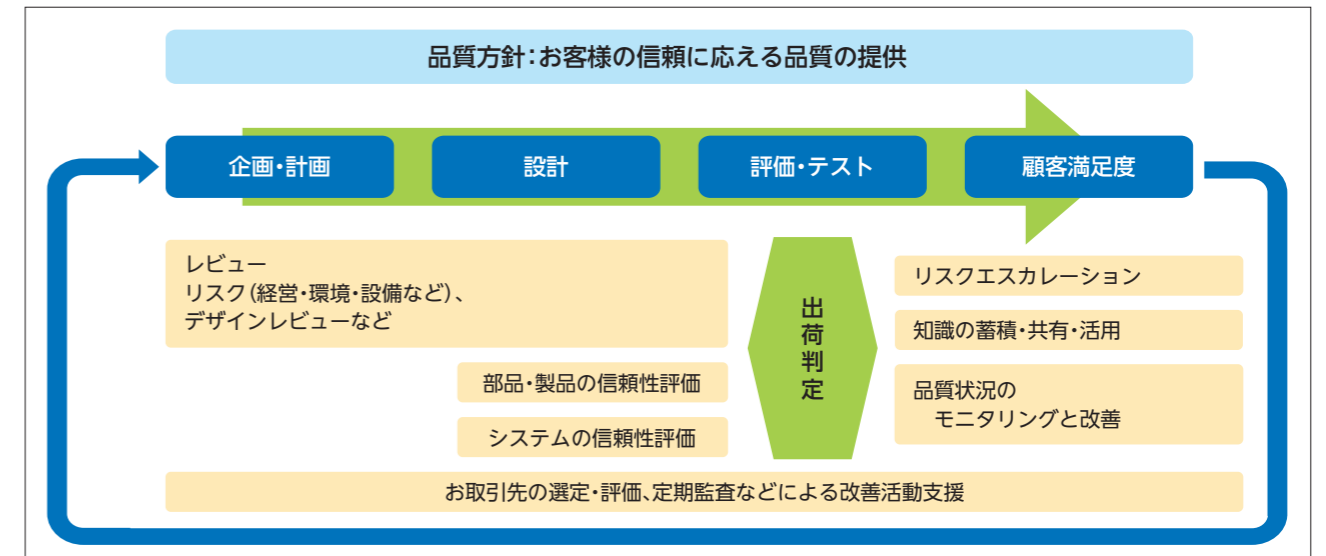
2. グリーン調達活動の取り組み

FDKグループは、環境負荷を考慮した事業活動と環境に配

● 品質保証体制図



● 品質保証の各検証プロセス図



社会とのかかわり



社会的要請

- 公開すべき情報の的確な開示
- ステークホルダーとの対話機会の充実
- 非財務情報開示要請の高まり

FDKのアプローチ

- ステークホルダーとの対話と協力
- 情報提供要請に対する適切な情報開示
- 研究開発コンテンツを当社ホームページに追加
- 地域社会・地域住民等への社会貢献活動

社会とのかかわりのハイライト

工場見学受け入れ件数	乾電池教室開催件数	障がい者訓練生の企業実習受け入れ数	地域での清掃活動件数
中止	中止	3名	12件
メディア・株主・投資家との対話件数	お客様よりのCSR／紛争鉱物調査対応件数	地域イベント参加数	「太陽とツナガル電池の音」コンサート
187件	168件	40件	7回

社会とのかかわりを支える取り組み

ステークホルダーとの対話と協力

基本的な考え方

FDKグループは、良き企業市民としてステークホルダーの多様な期待と要請を理解して企業活動を行っています。公開すべき情報を的確に開示し、ステークホルダーとの対話を行い、事業活動への反映を通じて社会に貢献する企業活動を継続的に行うことによって、企業価値の向上に努めています。

2020年度の目標

- ① CSR報告書の発行
- ② お客様からの情報開示要求に対する適切な対応
- ③ メディア・株主・投資家様
株主総会、IRミーティング、ホームページ上の情報開示経営方針・決算説明会などの対話に向けた検討

- ④ お取引先様との双方向コミュニケーションの充実
- ⑤ 従業員との対話
- ⑥ 地域社会・地域住民等への社会貢献活動の継続実施

2020年度の実績

- ① 2020年版CSR報告書を発行し、非財務情報の開示を行いました。
- ② お客様への対応
45件の会社情報等のお問い合わせに対し、情報提供を行いました。
- ③ メディア・株主・投資家様への対応
・187件のお問い合わせをいただき、適切な説明を行いました。
・2021年4月の決算発表時には決算短信と別に「決算説明および中計進捗状況」資料を開示しました。
・研究開発のコンテンツを当社ホームページに追加しました。

④ お取引先様との関係

部材調達先、人材派遣会社、業務委託会社、食堂提供会社、警備会社等にCSR調査を実施し、その結果をお取引先様と共有しました。

⑤ 従業員との関係

労使懇談会を毎月実施し、意見交換を行いました。また、従業員満足度調査を実施し、結果を分析して対応しました。

⑥ 地域社会への貢献

コロナ禍の中でありやむなく中止とした活動もありましたが、各拠点にて可能な活動を行いました。

地域社会・地域住民への社会貢献活動

各拠点にて地域社会・地域住民への社会貢献活動を実施しています。

活動例

1. 拠点周辺の清掃活動
2. 福祉協議会へ使用済み切手・ベルマーク等の提供
3. フードバンクへ防災備蓄品提供
4. 道の駅構内清掃および花壇の除草・花植え
5. 障がい者訓練生の受け入れ
6. 献血協力

社会貢献活動トピックス

2021年1月に鳥取県岩美町立岩見中学校様より「総合的な学習・ふるさと先生に学ぶ」へ講師派遣依頼をいただき、鳥取工場の総務人事部より講義を実施しました。SDGsの視点に立った企業の取り組みと、社会人になる前に今しておくべきことについて、事例と経験をもとに説明しました。SDGsは、近年高校入試にも出題されるなど、学校現場でも重要なテーマとして取り上げられており、今回の講義で生徒の皆さん(第一学年 83名)がSDGsについて理解を深めていただく良い機会となったと考えています。

地域社会への恒常的な貢献活動



道の駅花壇の花植 (鳥取工場)



AED取り扱い訓練 (鳥取工場)



工場周辺清掃 (FDKエンジニアリング クリーン作戦)



工場周辺清掃 (高崎工場)



工場前県道清掃作業 (鷺津工場)

従業員とのかかわり



社会的要請

- 働き方改革、働きやすい環境整備
- 均等な雇用(定年後再雇用、障がい者の雇用、女性活躍推進)

FDKのアプローチ

- 多様性の受容
- 働きやすい職場環境の整備
- 地球と社会に貢献する人材の育成

従業員とのかかわりのハイライト

女性社員の雇用比率	女性管理監督職人数	外国人従業員比率 (国内事業所)	障がい者雇用比率
18.8%	3人	0.61%	2.20%
有休取得日数/人/年	育児休職制度の利用者数	労使連絡会開催回数	人事ホットライン相談件数
15.0日	15人	12回	3件

従業員とのかかわりを支える取り組み

多様性の受容

基本的な考え方

方針

FDKグループでは、企業と個人がともに成長できるよう、国籍、性別、性的指向、年齢、障がいの有無、宗教、価値観にかかわらず、多様な人材を受け入れ活かすことを方針としています。

あるべき姿

FDKグループで働くすべての人が、あらゆる差別を排除し、多様な人材を受け入れ、それらの行動を実践している状態のあるべき姿としています。

施策と取り組み事例

①すべての人に働きやすい職場環境を整備する。

- 障がい者、LGBTに対応した働きやすい職場環境整備
バリアフリー化、多目的トイレ設置を計画的に進めています。
2020年度は、高崎工場に多目的トイレを設置しました。
- 新制服導入

LGBTなどの多様性を尊重し世代・男女を問わずTPOを考慮したデザインとIEC規格対応(静電気帯電防止)で安全性と快適性にも配慮した新制服を導入しました。

②人事・処遇制度の改善

- テレワーク制度を正式に導入しました。

③研修、セミナーによる啓発活動の充実

- マネジメント研修を計画通りに実施しました。

④従業員満足度調査の実施

- 全従業員を対象に従業員満足度調査を実施しました。
(回答率99.7%) 調査結果の課題解決を目的として、組織活性化研修を実施しました。

ダイバーシティの取り組み

当社は、女性社員の活躍機会の拡大と支援を目的として「女性活躍支援プロジェクト」を発足し、「女性活躍支援室」を設置し、2017年4月1日付けで「女性活躍支援室」を「ダイバーシティ推進室」へ改称しました。
ダイバーシティ推進室は、「多様性の尊重」と「働きやすい職場

環境整備」に取り組んでいます。

ダイバーシティ推進室は、コーポレート担当取締役のもと、室長、室員、推進メンバー(各事業所から選任)、および人事、労働組合からのアドバイザーで構成される組織です。

女性活躍推進法にもとづく行動計画

FDKグループは、2010年4月より「次世代育成支援対策推進法」にもとづく行動計画に沿い、従業員ひとり一人が元気にやりがいを持って働くことができる環境の実現に向け、「ワーク・ライフ・バランス」の推進などに積極的に取り組んでいます。2016年4月に施行された「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」にもとづき、行動計画を策定しました。今後も、男女ともに活躍できる会社を目指し取り組んでまいります。

第1期行動計画について

女性の活躍を一層推進するため、次の通り行動計画を策定する。

1. 計画期間

2016年4月1日～2021年3月31日までの5年間

2. 当社の課題

- 子育て中の女性社員が働きやすい風土・職場環境となっていない。
- 職場マネジメントが一部不十分であり、仕事と家庭の両立が困難なことから、子育て中の女性の就業継続が難しい。
- 出産・子育て等しながら働き続けている人を支援する職場風土となっていない。
- 柔軟な働き方に対する職場の理解が不十分で、子どもが病気の時などに急に休みをとりにくい。

3. 定量的目標

管理的地位に占める女性の割合を、2015年度から125%以上とする。

4. 取組内容と実施時期

取組1:経営者主導でのワーク・ライフ・バランスを実行

2016年4月～ 女性活躍推進支援プロジェクトを組織化し、定期的な活動状況の確認、各種施策・効果の情報共有を図る。

2016年10月～ 女性活躍推進室主催のイベントを各年度単位で開催する。

取組2:職場対応力・マネジメント強化を目的とした働きやすい環境づくりを推進

2016年4月～ 各種セミナーおよび研修プログラムの企画と検討を行う。

2016年12月～ 男性管理職および職場リーダーの意識改革を目的としたマネジメント研修を実施する。

2017年6月～ 女性社員の意識改革を目的とした、女性キャリア研修を開催する。

取組3:女性社員の積極的な採用と採用計画の推進

2016年10月～ 女性社員の配置職場および職域拡大の検討を行う。

2017年2月～ 人員計画と採用計画と連動した女性社員の積極的な採用の企画を実行する。

第2期行動計画について

女性の活躍を一層推進し、男女ともに長く勤められる職場環境を作るため、次のとおり行動計画を策定する。

1. 計画期間

2021年4月1日～2026年3月31日までの5年間

2. 当社の課題

- 課題1: 職場マネジメントが一部不十分であり、制度利用が理解されていない。
- 課題2: 出産・子育て・介護等しながら働き続ける人を支援する職場風土が必要。
- 課題3: 柔軟な働き方に対する職場の理解が不十分で、急な休みをとりにくい。

3. 目標と取組内容・実施時期

目標1: 管理・監督的地位に占める女性の割合を、2021年度から150%以上とする。

取組内容

- 2021年4月～ 女性活躍を支援する、ダイバーシティ推進室の定例会を開催し、活動状況の確認、各種施策・効果の情報共有を図る。
- 2021年4月～ 自己啓発カリキュラムを提供し、個人のキャリアアップを支援する。
- 2021年6月～ 次世代リーダー養成のための研修へ、女性の参加者を増加させる。
- 2021年9月～ 管理・監督職を対象としたマネジメント研修を開催。
- 2022年10月～ 女性管理職・監督職との意見交換を開催。

目標2: 柔軟な働き方に資するフレックスタイム制、テレワーク等の利用率を2021年度から25%アップする。

取組内容

- 2021年4月～ 制度のブラッシュアップを行い、定期的な周知を行う。
- 2021年6月～ テレワーク用の環境整備
- 2021年9月～ ワーク・ライフ・バランスの重要性をマネジメント研修会で周知する。
- 2021年9月～ テレワーク上のマネジメントのポイント・課題の教育を実施する。

地球と社会に貢献する人材の育成

人材育成

FDKグループの人材育成については、大きく4つのテーマに分けて考えており、それぞれのテーマに沿った教育に取り組んでいます。

1. 階層別研修(底上げ教育)

新入社員から幹部社員まで、各階層の立場にフィットした教育の充実を図ります。

2. プロフェッショナル育成研修

専門セミナー、技能検定受験

各専門分野でのプロフェッショナルの育成、先端技術、最新スキルの取り込みを図ります。

3. ビジネスリーダー育成

次世代リーダー研修、グローバル人材の育成
組織活性化につながるマネジメント力の深堀り。
人材育成への理解・働きかけ

4. 多様な個の成長支援

キャリアデザイン研修・人権教育
キャリア支援等を通じて個々の人材サポート・モチベーションの向上を図ります。

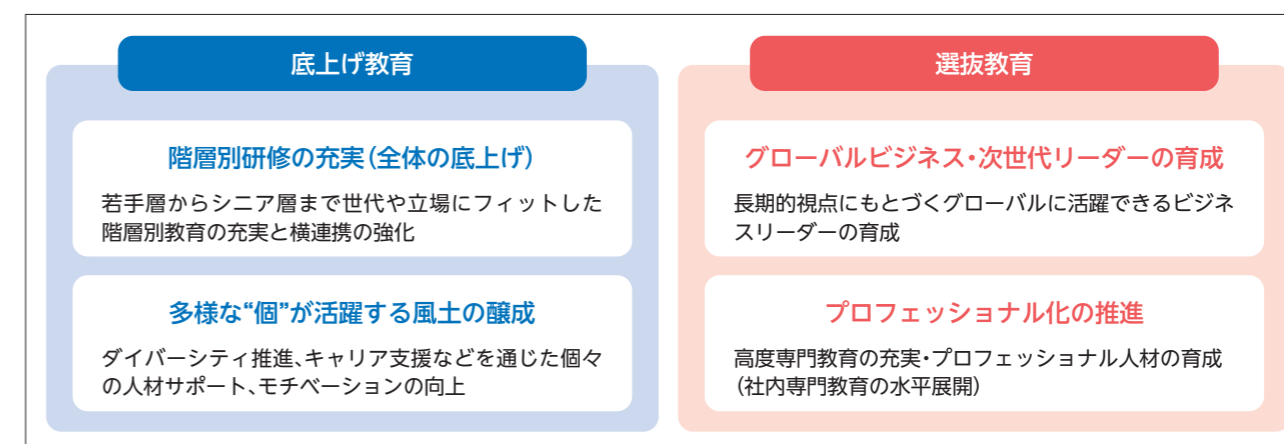
各種教育研修の見直し

1. 階層別教育の見直し
社内基礎教育について、集合型の受講形式を変更し、受講者の業務都合に合わせた学習形式へ変更します。
2. オンライン研修の併用
すべての研修を集合型にするのではなく、オンライン形式でも効果が見込めるものはオンライン研修に変更します。
3. 自己啓発に向けた個人学習ができる機会を提供します。
e-learningを取り入れ自己のスキルアップを目指して手軽に学べる学習の機会を提供します。
4. タレントマネジメントを踏まえた研修の実施
次世代を担う人材の育成を目的とした研修を実施します。

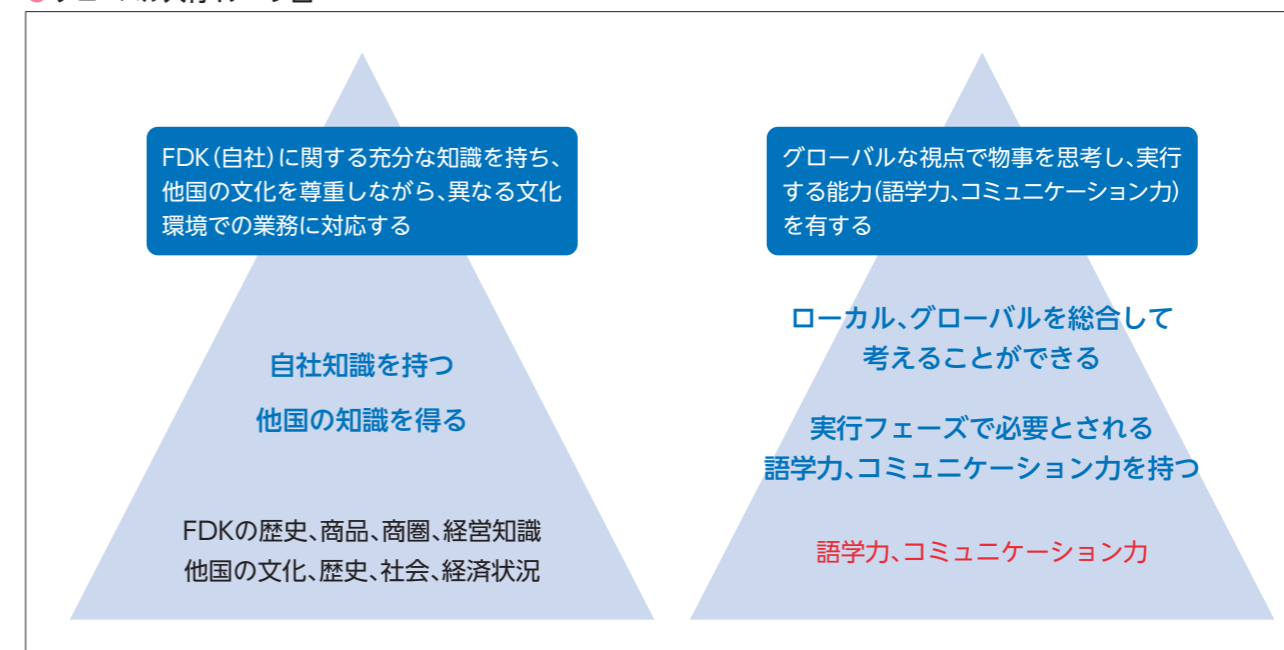
5. 「道場」の充実

「道場」は次に定める活動を行う。

- 1) 多分野において自己研鑽し、知識・能力・心技体を磨き自己の向上を図る活動
 - 2) 他部署、世代間のコミュニケーションを充実させ、組織の強化につながる活動
- 「道場の目的」
- 1) FDKグループの従業員が、多分野において、知識、教養経験などを深め、個人の人生を豊かにする。
 - 2) 自己研鑽の意識・環境を改革し、従業員同士が互いに切磋琢磨【助け合い】と「競い合い」の風土を構築するとともに、技術伝承や世代間交流を通して組織力の強化を図る。



● グローバル人材イメージ図



社会的要請

- 環境負荷低減
- 地球温暖化防止
- 廃棄物の削減

FDKのアプローチ

- 環境配慮製品の開発推進
- 温室効果ガス排出量の削減
- 廃棄物発生量の削減

環境保全活動のハイライト

第9期環境行動計画 目標6項目うち 4 項目達成	環境配慮設計 4 拠点中 2 拠点で達成	温室効果ガス削減 目標達成	エネルギー消費原単位 目標達成
化学物質排出量削減 目標達成	廃棄物発生量削減 目標達成	地域環境・社会貢献活動 目標未達	

環境保全活動の取り組み

地球環境保全への対応

基本的な考え方

FDKグループは、富士通グループの一員として企業の事業活動に伴う環境保全への取り組みについて、各国、地域の法規制や、温室効果ガス削減、廃棄物削減、化学物質の管理の徹底のみならず、提供する製品を通しての環境負荷低減等、地球規模の視点で主体的に持続可能な循環社会実現に向けて行動しなければならないと認識しています。全社的に、より確かな経営環境を推進するため、「FDKグループ環境憲章」を制定しております。

FDKグループ環境方針にもとづく行動指針

1. ISO14001に準拠した環境マネジメントシステムにより環境管理を推進し、継続的な改善を図ります。
2. 持続可能な資源の利用、気候変動対策、生態系の保護、および環境汚染の予防を推進します。
3. 事業活動にかかる環境関連法規制および行政との協定など同意した要求事項を遵守します。

4. 次の項目を重点テーマとして、該当する部門にて取り組みます。
 - (1) 環境に配慮した製品開発を推進します。
 - (2) 省エネルギーを推進します。
 - (3) 化学物質を適正に管理します。
 - (4) 廃棄物を削減し、リサイクルを推進します。
 - (5) 地域の環境貢献、社会貢献活動を推進します。
 - (6) 取引先様・お客様でのCO₂排出量削減の取り組みを推進します。
5. この環境方針を達成するため環境目的・環境目標を設定し、FDKグループの関係・グループ会社を含む全社員をあげて環境管理を推進します。
6. この環境方針は、FDKグループの敷地内の関係・グループ会社を含む全社員に周知するとともに一般の人にも開示します。

ISO14001 認証取得状況

FDK株式会社

- 本社・湖西工場・鷺津工場・高崎工場・鳥取工場
- 営業所 首都圏、札幌、仙台、名古屋、大阪、広島、福岡、沖縄営業センター

国内グループ会社

- 株式会社FDK エンジニアリング
- FDK販売株式会社
- FDKエコテック株式会社
- FDKパートナーズ株式会社

海外グループ会社

- FUCHI ELECTRONICS CO.,LTD.(台湾)
- XIAMEN FDK CORPORATION(中国・廈門)

カーボンニュートラルへの対応

富士通グループ中長期環境ビジョンで2050年CO₂排出ゼロの目標を掲げています。またRE100(企業が自らの事業活動の使用電力を100%再生可能エネルギーで賄うことを目指す国際的なイニシアチブ)の目標として、自らの事業活動の

使用電力について、再生可能エネルギー比率を2030年に40%以上、2050年に100%としています。FDKグループは富士通社目標に合わせてカーボンニュートラルへの対応を進めてまいります。

グリーン調達について

FDKグループは、地球環境問題の改善を考え、環境負荷を考慮した事業活動と環境配慮製品の提供により社会の持続的発展に貢献するように取り組んでいます。その取り組みにおいて、お取引先様からの納入品につきましても、環境配慮製品であることが必要不可欠であり、その考え方を「FDKグループグリーン調達基準」にまとめました。

FDKグループは、「地球環境との共生」を目指して、環境と調和した製品作りのために、従来からの品質(Quality)、価格(Cost)、納期(Delivery)、サービス(Service)に加え、環境(Environment)の側面を評価した調達、すなわち「グリーン調達」を推進しています。

*FDKグループグリーン調達基準 第7.0版

(https://www.fdk.co.jp/kankyou/green_proc.html)

FDKグループ環境憲章

FDKグループは、以下の理念のもと、スローガンを定め、環境経営を推進してまいります。

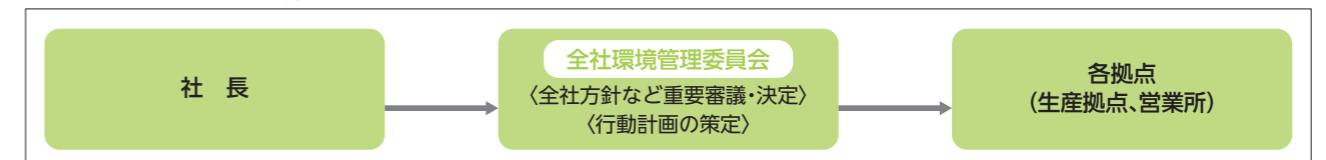
〈理念〉

FDKグループは、Smart Energy Partnerとして、先進技術を結集し、お客様に電気エネルギーを安心して効率的に活用いただき、持続可能な社会の実現と発展に貢献します。また、FDKグループは、豊かな自然・美しい地球環境を次世代につけていくため、環境法や環境上の規範を遵守した公正な企業活動を通じ、関係・グループ会社を含む全社員をあげて環境への取り組みを推進してまいります。

〈FDKグループ スローガン〉

FDKグループは地球を愛します かぎりある自然のために

FDKグループ環境管理体制



基本的な考え方

FDKグループでは、富士通グループ環境行動計画に準拠した計画を策定し、環境への取り組みを推進しています。

これらの方針・目標などを通じて、全事業領域にわたり計画

的、継続的に環境保全活動を展開し、自社の環境負荷低減に努めるとともに、お客様、社会の環境負荷低減にも貢献してまいります。2020年度は次員のような結果となりました。

● FDKグループ第9期環境行動計画 2020年度実績

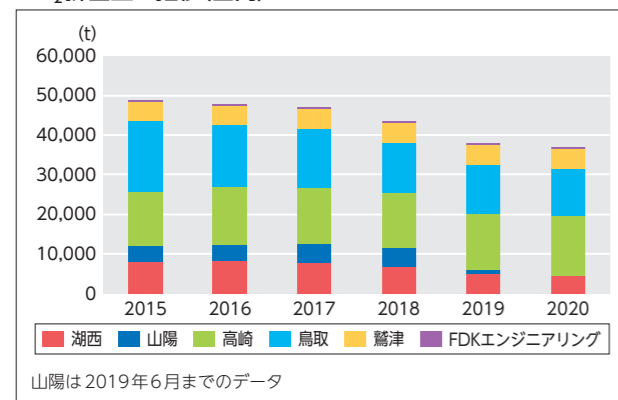
項目	行動計画	全体評価
環境配慮設計	エネルギー効率改善(省エネルギー)に寄与する電池・電子製品を、各拠点で年4件以上開発する	×
	資源効率改善(省資源)に寄与する電池・電子製品を各拠点で年3件以上開発する	×
温室効果ガス削減	国内FDKグループ全体でエネルギー消費CO ₂ 排出量を、2020年度末までに、34,568t以下に抑える	○
エネルギー効率	使用しているエネルギーについて、エネルギー消費原単位を指標として、各拠点で前年度比1%改善する	○
化学物質排出削減	使用するPRTR法対象物質について、排出量原単位を指標として、各拠点で2020年度末までに2015年度比5%改善する	○
廃棄物発生量削減	発生する廃棄物について、発生量原単位を指標として、各拠点2020年度末までに2015年度比5%改善する	○
地域環境・社会貢献活動	地域の環境貢献・社会貢献活動の取り組みを、国内FDKグループ全体で年25件以上実施する	×

社会貢献活動

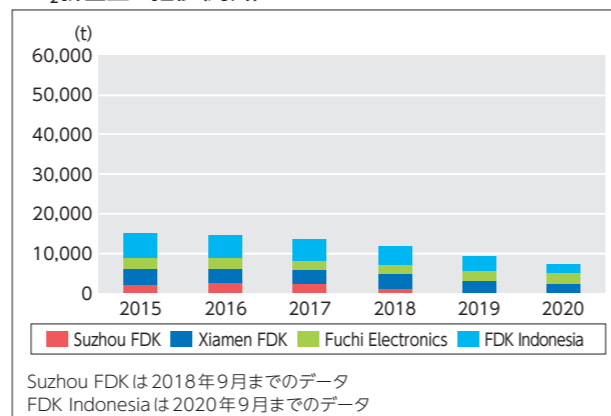
FDKでは、社会貢献活動の一環として、希少楽器であるクラピオラの世界唯一の奏者である折重由美子氏による「太陽とツナガル電池の音コンサート」をサポートしています。このコンサートは、太陽光で充電したニッケル水素電池のみを電源に使用しており、循環型エネルギーを目指した地球環境にやさしい充電電池と地球環境保護をテーマに音楽活動をされている折重由美子氏とのコラボレーションによるコンサートです。FDKグループは、これからも自社の事業を活かした社会・環境貢献活動に取り組んでまいります。



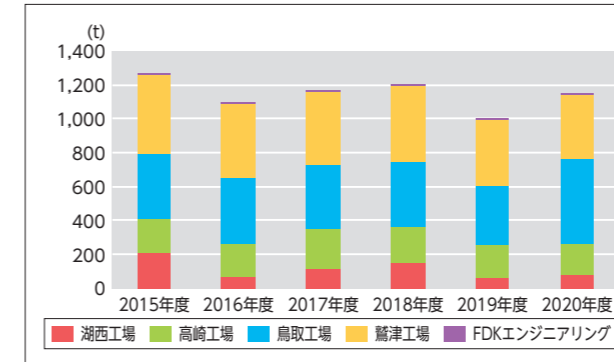
● CO₂排出量の推移(国内、国外) 2015年度~2020年度 CO₂排出量の推移(国内)



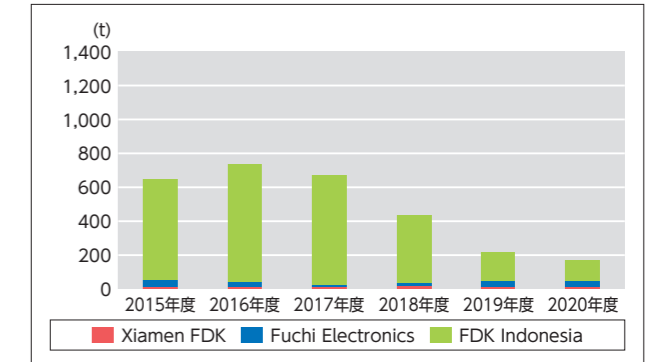
CO₂排出量の推移(海外)



● 廃棄物発生量の推移(国内、国外) 2015年度~2020年度 廃棄物発生量の推移(国内)



廃棄物発生量の推移(海外)



● 事業所別環境パフォーマンスデータ

項目	(単位)	湖西工場	高崎工場	鳥取工場	鷺津工場	FDKエンジニアリング
CO ₂ 排出量	2020年度 前年度 (t-co ₂)	4,494 4,912	14,928 14,017	12,153 12,501	4,908 4,934	137 131
水使用量	2020年度 前年度 (m ³)	68,294 82,774	22,948 22,012	63,636 67,145	41,464 44,685	433 480
PRTR対象物質排出量	2020年度 前年度 (kg)	0 0	3 0	0 171	0 0	- -
SO _x 排出量	2020年度 前年度 (kg)	- -	- -	- -	- -	- -
NO _x 排出量	2020年度 前年度 (kg)	247 344	- -	1,017 2,337	- -	- -
ばいじん(測定濃度)	2020年度 前年度 (g/Nm ³)	0.01未満 -	- -	- -	- -	- -
排水量	2020年度 前年度 (m ³)	68,294 82,774	22,314 20,977	36,442 35,589	41,464 44,802	433 480
廃棄物	2020年度 前年度 (t)	81 67	188 195	497 346	385 388	5 4

項目	(単位)	FDKエコテック	Xiamen FDK	Fuchi Electronics	FDK Indonesia
CO ₂ 排出量	2020年度 前年度 (t-co ₂)	30 27	2,495 3,016	2,638 2,686	2,144 3,446
水使用量	2020年度 前年度 (m ³)	- -	15,701 21,150	11,305 10,377	6,679 12,627
PRTR対象物質排出量	2020年度 前年度 (kg)	- -	- -	- -	- -
SO _x 排出量	2020年度 前年度 (kg)	- -	- -	- -	- -
NO _x 排出量	2020年度 前年度 (kg)	- -	- -	- -	- -
ばいじん(測定濃度)	2020年度 前年度 (g/Nm ³)	- -	- -	- -	- -
排水量	2020年度 前年度 (m ³)	- -	12,561 16,920	11,305 10,377	6,011 11,364
廃棄物	2020年度 前年度 (t)	- -	11 10	31 32	124 166

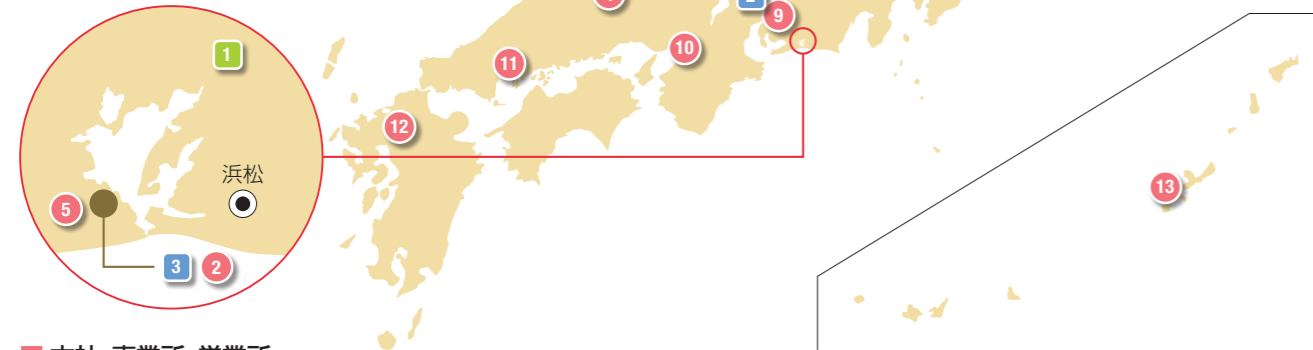
注) CO₂換算係数 0.57 (t-CO₂/Mwh)

FDK Indonesiaは2Qまで

概要、グループ会社

● 会社概要

会社名	FDK 株式会社 (FDK CORPORATION)
創立	1950年
本社	〒108-8212 東京都港区港南一丁目6番41号芝浦クリスタル品川
資本金	31,709百万円(2021年3月31日現在)
売上高	2020年度(2020年4月1日から2021年3月31日) 連結: 61,543百万円
従業員数	連結: 2,486名(2021年3月31日現在)
事業内容	各種一次・二次電池および蓄電デバイスならびにエレクトロニクス関連の素材・部品とそれらの応用製品・応用装置の製造および販売
主要製品	ニッケル水素電池、アルカリ乾電池、リチウム電池、マンガン乾電池、蓄電システム、各種強力ライト、電池製造設備、スイッチング電源、DC-DCパワーモジュール、トナー、液晶ディスプレイ用信号処理モジュール



■ 本社、事業所、営業所

本社

事業所	住所	ISO14001	ISO9000'sおよびTS/IATF16949
1 本社	〒108-8212 東京都港区港南1-6-41(芝浦クリスタル品川) TEL:03-5715-7400	EC98J2005	-

事業所

事業所	住所	ISO14001	ISO9000'sおよびTS/IATF16949
2 湖西工場	〒431-0495 静岡県湖西市鷺津2281 TEL:053-576-2151	EC98J2005	ISO9001:4745
3 高崎工場	〒370-0071 群馬県高崎市小八木町307-2 TEL:027-361-7575	EC98J2005	ISO9001:4184927 IATF16949:370138
4 鳥取工場	〒681-0063 鳥取県岩美郡岩美町太田28 TEL:0857-73-1771	EC98J2005	ISO9001:4656683 IATF16949:376864
5 鷺津工場	〒431-0431 静岡県湖西市鷺津614 TEL:053-576-2111	EC98J2005	ISO9001:JQA-0459

営業所

事業所	住所	ISO14001	ISO9000'sおよびTS/IATF16949
6 首都圏営業所	〒108-8212 東京都港区港南1-6-41(芝浦クリスタル品川) TEL:03-5715-7436	EC98J2005	-
7 札幌営業所	〒060-0007 北海道札幌市中央区北7条西13-9-1(塚本ビル7号館4F) TEL:011-798-4699	EC98J2005	-
8 仙台営業所	〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡4-12-1(榴岡BKテラス) TEL:022-293-5265	EC98J2005	-
9 名古屋営業所	〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅5-28-1(名駅イーストビル4階) TEL:052-561-3141	EC98J2005	-
10 大阪営業所	〒532-0004 大阪府大阪市淀川区西宮原1-8-29(テラスキ第2ビル) (電池営業部門) TEL:06-6350-4883 (電子営業部門) TEL:06-6350-4877	EC98J2005	-
11 広島営業所	〒732-0052 広島県広島市東区光町2-9-27(ユーベック光町ビル) TEL:082-535-1450	EC98J2005	-
12 福岡営業所	〒812-0038 福岡県福岡市博多区祇園町1-28(いちご博多ビル) TEL:092-291-9421	EC98J2005	-
13 沖縄営業センター	〒901-2128 沖縄県浦添市伊奈武瀬1-9-6(琉球通運(株)T.C.事業部内) TEL:098-868-8685	EC98J2005	-



■ グループ会社(生産関連会社3社)

事業所	住所	ISO14001	ISO9000'sおよびTS/IATF16949
1 (株)FDK エンジニアリング	〒431-1302 静岡県浜松市北区細江町広岡281 TEL:053-522-5280	EC98J2005	ISO9001:JQA-QMA15241
2 XIAMEN FDK CORPORATION	No. 16, Malong Road, Huoju Garden, Huoju Hi-Tech District, Xiamen, Fujian, China TEL:+86-592-603-0576	00120E30145R4M/ 3502	ISO9001:00120Q30430R4M/3502 IATF16949:393676
3 FUCHI ELECTRONICS CO., LTD.	No. 355, Section 2, Nankan Road, Rutsu Shan, Tao Yuan, Taiwan TEL:+886-3-322-2124	4E9E001-03	ISO9001:2015/69024.3 IATF16949:0339560

■ グループ会社(販売会社など10社)

事業所	住所	ISO14001	ISO9000'sおよびTS/IATF16949
1 FDK 販売(株)	〒108-8212 東京都港区港南1-6-41(芝浦クリスタル品川) TEL:03-5715-7430	EC98J2005	-
2 FDK エコテック(株) (岐阜事業所)	〒503-0322 岐阜県海津市平田町土倉字江東478 TEL:0584-66-4781	EC98J2005	-
3 FDK パートナース(株)	〒431-0431 静岡県湖西市鷺津2281 TEL:053-576-3121	EC98J2005	-
4 FDK AMERICA, INC.	(Head Office) 1280 E. Arques Avenue, MS310, Sunnyvale, CA 94085, U.S.A. TEL:+1-408-746-6815 (Dallas Office) 2801 Telecom Parkway, MS C1R, Richardson, Texas 75082, U.S.A. TEL:+1-972-231-2531	-	-
5 FDK ELECTRONICS GMBH	Einsteinring 24, 85609 Aschheim/Munich, Germany TEL:+49-89-3306680-0	-	ISO9001:91110693/3
6 FDK SINGAPORE PTE. LTD.	4, Leng Kee Road, #04-08 SIS Bldg., Singapore 159088, Singapore TEL:+65-6472-2328	-	-
7 FDK HONG KONG LTD.	Suite 1607-1608A, 16/F., Tower 3, China Hong Kong City, 33 Canton Road, Tsim Sha Tsui, Kowloon, Hong Kong TEL:+852-2799-9773	-	-
8 FDK KOREA LTD.	Room.614, Suseo Hyundai Venture-vill Bldg, 10, Bamgogae-ro 1-gil, Gangnam-gu, Seoul, 06349, Republic of Korea TEL:+82-2-582-8452	-	-
9 FDK TAIWAN LTD.	8F.-4, No.57, Sec. 1, Chongqing S. Rd., Zhongzheng Dist., Taipei City 100, Taiwan TEL:+886-2-2311-5161	-	-
10 FDK (THAILAND) CO., LTD.	408/150, 35th Floor Phaholyothin Place Building, Phaholyothin Road, Khweng Samsain-nai, Khet Phayathai, Bangkok 10400 Thailand TEL:+66-2-163-4664	-	-

* ISO14001、ISO9000'sおよびTS/IATF16949など、第三者認証取得状況は、2020年3月31日現在



FDK FDK株式会社

〒108-8212 東京都港区港南一丁目6番41号
芝浦クリスタル品川

コーポレート本部 総務人事部
TEL:03-5715-7402 FAX:03-5715-7401
E-Mail:csr@fdk.co.jp